

①一般の意向：目に見える一致
②宣教の意向：アフリカの教会
③日本教会の意向：諸宗教対話の
推進

教区最長老・中島師が

司牧歴
1936年浦上助任、
37年小神学校教諭、39年
福江、41年神崎、42年三
浦町、同年出津、47年浦
上、73年諫早で、それぞ
れ主任司祭を務める。

日本の司教団がアド・リミナ(使徒座訪問)

「アド・リミ
ナ」とは、全世
界の司教たちが
国単位で定期的
に行うローマ訪
問のこと。正確
には Visitatio
ad limina Apos-
tolorum
とあり Visi-
tatio Sacrorum
Liminum
とある。

linen の複数形で、「敷居」の意。ここでは聖ペトロと聖パウロの墓の敷居を指すので、全体の意味は、「使徒たちの敷居の訪問」、つまり両使徒のお墓のある大聖堂へ巡礼するということになる。同時にそれは、ペトロの後継者である教皇の訪問をも意味する。

ことで、10年ごとであったが、新教会法（1983年）以後は5年ごとに行われている。司教たちは、所定の期間に両使徒の墓を訪れ、教皇の謁見を受け、各自自分の教区について教皇に報告する『教会法』399〜400条。

日本の司教団は2007年12月10日〜15日にこの訪問を行った。これと同時に全員で福音宣教省

長官を訪ね、典礼秘跡省など各自必要に応じて個別に希望する省や評議会なども訪問した。高見大司教にとっては最初のアド・リミナとなった。

**信徒の呼び掛けで
情報誌を発刊**

信徒から発信！ 情報誌「Church（チャーチ）」（発行元・同発行委員会）が発刊（A4判、

時代です。仕事や勉強やクラブ、理由を付けられればきりがありません」

「魅力ある情報誌を目指して一歩踏み出しました。協力的な各教会の神父さま、評議会議長や信徒の皆さんのおかげで無事創刊できました」

創刊号は長崎市と時津・長与の教会の約1万世帯、他の教会には各2部発送され、今後は状況を見ながら決めていく。

FAX 0956(75)0731
▼教区結婚講座 2月5日
日 29日のうち8回 毎週火・金曜日の19時〜21時15分 カトリックセンター2階講堂
申込先・家庭委員会
TEL 095(842)4450
▼音楽と講演Ⅱ「ベネディクト16世 世界平和の日メッセージ」 2月10日(日)14時 長崎ブリックホール国際会議場 入場無料【音楽】「カン

「永井 隆 生誕100年」 記念行事開催中！

- ◆特別展「永井隆 “天国からの伝言”」
2月1日(金)～3日(日) 長崎原爆資料館地下2階広場
- ◆記念コンサート「わが心の歌・長崎の鐘」
2月3日(日)14時 長崎市平和会館
- ◆平和の灯
2月3日(日)、5月1日(木)19時 永井隆記念館前庭

問合先：永井隆生誕100年記念事業実行委員会事務局
(永井隆記念館内：TEL/FAX 095-844-3496)

「二葉募金」から緊急援助

昨年11月15日にバンゲラデシユで発生したサイクロン「シドル」は沿岸部に壊滅的な被害を与え、死者数は20日現在約2700人で不明者をいれると1万人に達する可能性があるという。教区評議会では一葉募金からカリタスジャパンを通じて200万円の緊急援助を決め、12月3日送金した。

一葉募金は1991年故島本 要大司教から当時の教区信徒使徒職評議会（教区評議会が業務を引き継いでいる）に台風

や地震などの災害が発生してから募金を集めても支援が遅れるので、毎週金曜日のおかずの一品（一葉）分を献金する運動を提案、現在に至っている。その募金方法から「一葉募金」（旧「カンカン募金」と呼ばれ、毎年約600万円の募金があり、災害時の緊急支援に多大な貢献をしている。現在70小教区のうち53小教区のご協力をいただいているが、教区評議会では全小教区の参加を呼び掛けている。

**カトリック
長崎中央墓園
竣工祝福式**

このほど中町小教区（野下千年主任神父）が管理する新しい教会専用墓地が西山本場町の峠で車道と直結した地点に完成し、昨年11月24日、竣工式と高見大司教による祝福式や開園記念ミサが行われた。

竣工式では工事を担当した長崎鋦栄商事社長朝長敏男氏から教区法人代表高見三明大司教に「引渡証」が手渡された後、朝長氏と墓標の復活キリスト像制作者本田利光氏

に感謝状が贈られた。

この後、新典礼により墓園入り口からのおよそ150人の荘厳な行列に始まる墓園全体の祝福が行われ、すでに建立されている新しい墓碑30基の祝福とともに、この日遺

A photograph showing a group of people in white robes and a red dress walking in a cemetery. In the background, there are tombstones and a large cross on a hill.

骨を持参した家族の納骨式も行われた。

続いて園の前方中央に立つ大十字架と復活のキリスト像の祝福、祭壇の祝福が行われ、開園記念死者ミサがささげられた。

ミサの終わりに大司教はこの墓地を「ペトロ岐部」と187殉教者列福記念・カトリック長崎中央墓園」と命名した。

1月1日創刊号は全24ページ。担当者の声。「信徒は大勢いるのにミサの参加者が少ない。神父さまが頑張っても教会に来ない？ お祈りだけでは教会に行かない？ ばかな

▼イエズス会立山修道院
お知らせ

●祈りの一日 ① 1月18日(金) ② 1月29日(火) ③ 2月6日(水) 9時50分～15時半

●ともに祈る日々 ① 1月26日(土)～27日(日) ② 2月2日(土)～2月3日(日) 初日17時～翌日15時 TEL 095(821)4577

▼研修会「復活祭を準備する」 2月17日(日)13時～17時 青方教会 参加費500円 聖週間の典礼を中心に、原則と意味留意点を学びます。

申込先・教区典礼委員会
研修会事務局

指揮 小畑郁男、独唱
齊藤 祐（バリトン） 福
地友子（ソプラノ）、ピアノ
有馬 史、合唱 お
告げのマリア修道会修練
者・長崎純心聖母会修練
者 【講演】山内清海師
長崎大司教区主催

平戸地区様
右の方からご寄付を賜
りました。お礼とご報告
を申し上げます。
長崎力トリック神学院

2階広場

館前庭
会事務局
44-3496)

寄付

「ペトロ岐部と一八七殉教者」の列福式日程が今年11月24日に決定しました。

私たちはこの日に向けて共に祈り、殉教地を巡礼し、彼らのメッセージを聴くために殉教者たちの生涯を勉強しています。カトリック中央協議会刊「ペ

トロ岐部と一八七殉教者」はよいテキストです。それでも、殉教者の数は？ 殉教とは何か？ 島原の乱の死はなぜ殉教でないか？ などなど「もつと知りたい」と質問を受けることがあります。この欄ではこのような質問について一緒に考えたいと思います。

ローマで出版されたカル
ディム著「日本殉教精華」
で、1,450人と記して
ますが、宣教師の手紙や
報告で名前が分かる殉教
者のみです。日本では新井
白石が1709年に著し
た「天主教大意」に3代将
軍家光の時、20万〜30万
人が誅（ころ）された」と記


記録が残らない多くの無名の者がいます。

現代のキリシタン研究家で殉教者の人数を挙げているのは姉崎正治博士が1930年刊の「キリシタン史索引」に37,921人と記し、ラウレス博士は4,045人としています。また研究者の中には

「ベト口岐部と187殉教者」については、殉教者列福調査特別委員会が教会史料と日本史料に基づいてその生涯と殉教を証明する調査書を作成しました。教会がそれを審査し平成19年6月1日に教皇さまによつて列福が正式宣言されたのです。

に、たくさんの援助物資（新米約80俵、野菜、日用品、および現金）が届けられました。

神学生養成の一助にという、信徒の皆さまの温かいお心遣



もつと知りたい
日本の殉教史

第1回
日本の殉教者の数は？

長崎純心大学学長
片岡千鶴子 修道女

第1回は「日本の殉教者の数は？」の質問について考えます。簡単に見えませんが難問です。正確な人数はまだ出されていないからです。

しますが、残念なことに数
の根拠に触れていません。
殉教者は教会史料と日本
史料の両方に記録がある
者、教会史料のみ、ある
いは日本史料のみにしか
記録がない者、伝承にし
か残らない者、さらに全く

少なくとも4万〜5万人の殉教者が出たとする人もいます。このように関係史料の取り扱い方によってかなりの違いがあり「殉教者の数」を確定するのは困難であるというのが現状です。

小神学院生への
物資援助に感謝

いに、神学院一同心より
感謝いたします。

院長 山田 良秋

[illegible]

祝桐小教区設立50周年 宮原司教、叙階25周年



講演の後、記念ミサを行い、続いて司祭叙階25周年の祝賀式に移った。この日は素晴らしい秋空。教会前の広場でお祝い会を催した。信徒手作りの料理、ユーモア溢れる出し物、懐かしい昔話に花が咲き、信徒一同、喜びのうちに新しい一歩を踏み出した。

上五島・桐小教区設立50周年祭(主任司祭浅田照明師)は、昨年9月30日、同小教区出身の大分教区長・宮原良治司教の叙階25周年のお祝いを併せて行い、地区・歴代の主任司祭、出身修道女ら多数参列、盛大に祝った。50周年祭は宮原司教の



信徒の集い

昨年10月21日、上五島地区信徒の集いを、講師古巣・聖神父を招き、石油備蓄記念会館で開いた。古巣神父は「マルチリオの勧めー188殉教者のともし火をたずさえてー」をテーマに、私たちの信仰の事柄に偶然はなく、そのすべてに意味があること、そして思い出の上に生き、とくに日本の教会は殉教者の事柄の思い出の上に生き生きと生きていること、その節目に、殉教者たちの姿が意味ある事柄としてあることを話した。上五島に生きる私たち一人ひとりが、今何を求められているかを考え、

信仰養成講座

昨年11月25日、青方教会で上五島地区の信仰養成講座が開かれた。講師に平本義和師(木



合同「堅信式」

青方教会で昨年11月11日、高見大司教司式で中学2年生79人、成人11人の計90人が、「堅信の秘跡」に授かり、堅信の賜物のお恵みをいただいた。キリストの新しい兵士としての使命のうちに、新しい人となった者としてこれからの一人ひとりの信仰生活を力強く支えていってほしい。

神学生養成援助費に(連合婦人会) 950万円寄付

長崎教区連合婦人会は昨年11月25日、常任委員会の後、大司教館を訪ね、高見大司教に「神学生養成援助費として各地区から寄せられた寄付金です」と森内千恵子会長が950万円を手渡した。大司教は婦人会の皆さんに感謝の言葉を伝えてくださるとお礼を述べた後、会長と同行した各地区会長、婦人



殉教地、米沢 京都など巡礼

昨年11月28日から3日間、中村 満神父同行の巡礼団が、米沢・京都の殉教地・六条河原を訪れ、記



1時間ほどで、53人の信徒が神の愛を証した米沢の殉教地・北山原に着いた。夕刻とあつて、丘のキリスト像は赤々と夕日に燃えており、往事を偲ぶことができた。翌日は京都へ。フランシスコ資料館の天田氏の案内で京都の52人の殉教地・六条河原を訪れ、記

堂崎天主堂「奥浦さるく」100周年事業

派遣宣教師となった中村長八師の生地など巡る「奥浦(五島市)さるく」が昨年12月2日行われ、地元小中学校と堂崎天主堂100周年実行委員会の共催事業として子供たちを中心に90余人



は約100人。「子供たちのハイペースについて行くのがやっとだった」と運動不足の大人はもらしていた。堂崎天主堂(写真)では75年の生涯をブラジル、奄美大島の宣教にささげた中村師の遺品も特別展示した。同12日は100周年事業の一環として堂崎天主堂でクラシックコンサートも催した。

子供聖歌の集い

昨年12月2日、第16回子供聖歌の集いが浦上教会で行われた。長崎北・中・南地区から14小教区の子供たちが集い、それぞれ練習曲を発表した。発表に先立ち、大水恵一神父(聖コルベ志願

列福式の肖像画 制作者に三牧さん

188殉教者列福式典会場に掲げる肖像画制作者に長崎市三京町に住む聖画家・三牧樺子さんが選ばれた



きのようなものと、殉教者をイメージした下絵作品の応募を依頼していた。

応募作品は肖像画選定部会で慎重に審査の結果

列福式典会場に掲げる肖像画。審査委員の意見・要望を入れ制作中だが、会場には原画の拡大コピーと



長崎港を眼下に見下ろす国宝大浦天主堂(長崎市南山手町)その頂点に立つ十字架の架台復元を行った長崎市城山町の建築板金工の折式田信寛さんに厚生労働省は「現代の名工」として表彰した。



世界平和を訴える三ツ山教会

1月1日は「世界平和の日」。車で諫早方面から川平バイパスへ料金徴集所を通過すると、高台の三ツ山教会の壁面に「世界平和を祈ろう」と書いた文字がひとときわ輝いて見える。主任司祭古川武信師のアイデア。

11月24日は殉教者の列福式。車で長崎入りする信徒、被爆都市からの発信を「心の光」として受け止めるに違いない。



大浦天主堂十字架の架台復元で「現代の名工」に選ばれた 折式田信寛さん

折式田さんはこの道43年のベテラン。でも仕事は厳しかったという。改修図面と首つ引きで板金8面体銅板製架台(高さ14m、直径30cm)を製作から取り付けまで約2週間で完成させる。

だけに、板金工の名譽にかけて取り組みました。今回の受賞は、業界各団体をはじめ、得意先、会社の社員、家族などに感謝し、日の当たらない技能職を評価してもらったと喜ぶ。平成17年、全

「架台の直線・曲線など、これまでになく製作の苦労がありました。先人の技法を忠実に守り、造ることができました。今回の仕事は世界遺産の登録入りを目指す長崎の教会群の代表的な天主堂建設で重荷を感じたが、

浦上教会にて

殉教者の絵 展示(中地区)

「子供聖歌の集い」開催にあわせ浦上教会の要理教室では、中地区の子供たちによる殉教者についての絵などが展示され、多くの人が観賞した。



城山教会高学年



稲佐教会5年生

夫に富んだ作品は、水彩・クレヨン画、紙芝居やペープサート、カラーセロハンでステンドグラス風に仕上げた絵などさまざま。それらの作品からは、殉教の凄まじさ、心の強さが表れていた。

